

令和 7 年度

「運営に関する計画」
年度目標設定

大阪市立長吉南小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立長吉南小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

昨年度運営の計画で指標とした以下 4 つの項目について、校内での「児童アンケート」では目標を上回っているが、学力経年調査においては目標より低い結果となった。特に 6 年生で 4 月に行った全国学力学習状況調査では自己肯定感に関する項目で 96% もの大変高水準の肯定的回答を得られているにもかかわらず、学力経年調査では 74% と大きく結果が下回っている。

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」 最終⇒児童アンケート 91%（目標 88%） 学力経年調査 86%（目標 87%）
- 「自分にはよいところがあると思いますか」 最終⇒ 児童アンケート 87%（目標 87%） 学力経年調査 77%（目標 82%）
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」 最終⇒児童アンケート 93%（目標 92%）

学力経年調査 89%

- 「学校のきまりを守っていますか」 最終⇒児童アンケート 96% 学力経年調査 94%

3 年以上の「大阪市学力経年調査」で、1 年 2 年を含む「学校アンケート」より低位の結果を招いているのは、中・高学年で以降、安全・安心に関するアンケート項目（登校意欲・自尊感情・いじめ・きまり）への意識が低くなっていると考えられる。発達段階により仲間意識が強く複雑になり、人間関係や学習も低学年よりは難しくなるなど、多種多様な要因が中学年以上の回答に影響していると考えられる。また、自尊感情と登校意欲との相関関係も深くあると推察している。

本校の児童は、素直で与えられた課題に対し真面目に取り組める。また、互いに優しく思いやることもでき、他学年の児童同士も仲良く過ごしている。昨年度から引き続き、縦割りや異学年との交流を多くし、楽しさや充実感を深める活動内容を工夫する。特に中高学年の児童が、自身の良さに気づき自信と意欲を高められるようにしたい。

また、幅広く様々な事柄に興味・関心を高め、積極的に活動できるような体験的学習や文化芸術に関する活動も多く導入していく。この活動をキャリア教育にもつなげ、児童の未来の可能性を広げるようとする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和 6 年度、国語科の説明文を通して研究を深めた。求められている「協働的な学習」「主体的対話的で深い学び」の力を育成するため、ともに学び合う活動を積極的に取り入れている。また、学力経年調査に向け、昨年の結果から分析した課題を強化するための対策期間を設けた。子ども達の学びへの姿勢は常に前向きで、与えられた課題に一生懸命取り組んでいる。

しかし、各学力調査の結果、目標を達成することは難しかった。結果の分布からは、学習内容の習得について、低位と上位の格差が大きくなっていることも分かってきた。

基礎的学習内容の習得を確実にするために、既習内容の反復や自主学習・家庭学習の習慣化をめざす。また、授業改善や学習端末を含む学習教材の工夫により、さらに分かりやすい授業と個別支援の充実を図りたい。

運動に関しては、すべての学年で「運動が好き」と回答する児童の割合が低下した。楽しみながら様々な運動能力を身に付けられるよう工夫しているが、今後とも努力が必要である。

体育の授業の中で、体を動かすことや目標をもって活動し、達成する喜びなどを味わわせなが

【学びを支える教育環境の充実】

昨年12月までの指標の割合は43%と目標を下回っていたが、その後活用率が上昇し、月の平均使用率は86%、指標の結果については49.1%と飛躍的に上昇できた。(※目標50%)

本校の教職員がICTの活用に努力した結果であり、本校で自負できるものである。

タブレットを文房具のように使いこなし、自分の学習に効果的活用ができる児童の育成をめざして、教員のICT活用力を高める取組を工夫し継続する。

また、今後は毎日のタブレット持ち帰りも視野に入れていかねばならない。そこに関連する環境整備や指導の工夫を進めていきたい。

PTA・地域の理解を得ながら、ゆとりの日や学校閉庁日を目標通りに実施することができた。(ゆとりの日は週に1日、学校閉庁日は夏季休業・冬季休業合わせて9日実施)日頃の退勤時間も定着し、長時間勤務は減りつつある。しかし、パソコンや書類を持ち帰り仕事を進めている実情もある。本当の働き方改革とは何かを考えて、真に働きやすい環境を整備する必要がある。

教職員の意見・思いも聞き、教育活動への職務遂行義務と負担軽減のバランスを取りながら、働きやすい職場環境の整備が必要である。週1回のゆとりの日や長期休業中の閉庁日の設定による全員共通の休暇などに継続して取り組んでいく。また、心身に負担を軽減し心地よく働ける環境、ウィルビーイングな職場づくりに向けて工夫と改善を行いたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上または、高水準を維持する。(R6 86%)
- ② 小学校学力経年調査における児童アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上または、高水準を維持する。(R6 77%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。(R6 現6年0.87 現5年0.97 現4年0.96)
- ② 小学校学力経年調査における、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を69%以上または、この水準を維持する。(R6 68%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末をかつようした日(数が年間授業数)の72%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)(R6 10か月平均71.7%)
- ② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を平均90%以上、または高水準を維持する。(R6 89%)
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上、または、この水準にする。(R6 81%)

中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上または、高水準を維持する。(R6 86%)
- ② 小学校学力経年調査における児童アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上または、高水準を維持する。(R6 77%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
(R6 現6年0.87 現5年0.97 現4年0.96)
- ② 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を69%以上または、この水準を維持する。(R6 68%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末をかつこうした日（数が年間授業数）の72%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）
(R6 10か月平均71.7%)
- ② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を平均90%以上、または高水準を維持する。(R6 89%)
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上、または、この水準にする。(R6 81%)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立長吉南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ① 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上または、高水準を維持する。 (R6 86%) ② 小学校学力経年調査における児童アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上または、高水準を維持する。 (R6 77%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ・児童が主体的に課題やめあてを見つけ、積極的に取り組む児童会活動（運営委員会）を工夫する。 ・たてわり班やペア（なかよし）学年・隣接学年・全学年（集会委員会）など、様々な異学年での交流と仲間づくりを月1回以上行う。 ・いじめアンケートを1学期は毎月行う。2学期以降は実態に応じて実施回数を検討する。アンケートの結果について問題の大小を問わず事実を確認し、いじめの早期発見と早期解決を徹底する。 ・各学期初めに「長吉南小学校の生活」（学校のきまり）への理解を深め、きまりを守ろうとする態度を育てる。	
指標 ・学校アンケート「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を92%以上または、高水準を維持する。 (R6 91%)	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・週1回以上各学級でいいところを見つけを実施する。 ・学校生活全般で、友だちのいいところを見つけを通して自分の良さを見つけ、自尊感情を高めていく。	
指標 ・学校アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上または高水準を維持する (R6 87%)	
年度目標の達成に向けた取組内容の進捗状況	
次年度への改善点	

大阪市立長吉南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 (R6 現6年0.87 現5年0.97 現4年0.96)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を69%（R7目標値）以上または、この水準を維持する。（R6 68%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度の小学校学力経年調査の結果から「情報」の正答率を向上させるために、辞書の活用を日常的な学習活動に取り入れる。 研究教科である国語科における学習方法の工夫を進め、文章を正しく読み取る力、目的に応じて文章を簡潔に書く力の育成を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 <p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 視写の取組を通して、文章を正確に理解したり深く読み取ったりするなど読解力の育成を図る。 自主学習ノートの取組を通して、家庭学習の習慣化や学び方を身につけさせ、自ら学ぶ力の育成を図る。 教材教具やその効果的活用（個人用ホワイトボードなどの活用）を進めるとともに、navimaの活用などICT機器を効果的に取り入れ、学習内容の理解・定着を図る。 校内研究のほか学力向上（重点支援校）の取組により、学びコラボレーターーやスクールアドバイザーと連携し、授業改善に努める。 習熟度別少人数授業を進め、効果的な学習方法やサポーター配置などを工夫し、個に応じた指導・支援を充実することで基礎学力の向上を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校アンケート「学習したことがよくわかる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上または、高水準を維持する。（R6 90%） 	

取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

- ・学級でみんな遊びなどを取り入れ、運動に親しめるようにする。
- ・学校全体で持久力向上につながる「かけ足運動」や「なわとび運動」に取り組む。

指標

- ・児童アンケート「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 93%以上または、この水準を維持する。 (R6 92%)

年度目標の達成に向けた取組内容の進捗状況

次年度への改善点

大阪市立長吉南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業数の51%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く） (R6 平均50.0%) ② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を平均90%以上または高水準を維持する。 (R6 89%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ・「みなみタイム」でnavimaを活用した朝学習に週1回以上取り組む。 ・学習者用端末を用いた活動を、学級の実態に応じて毎日行う。	
指標 ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、月間授業数の51%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）(R6 平均50.0%)	
取組内容②【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教職員が働きやすい環境を整備し、長時間勤務の解消を図る。	
指標 ・ゆとりの日については、週1回設定・実施する。学校閉庁日については、夏季休業期間は3日以上、冬季休業期間については2日以上設定・実施する。(R6 ゆとりの日は週1回実施 学校閉庁日は年間9日実施) ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を90%以上または高水準を維持する。 (R6 89%)	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ・平ちゃん読書ノートを活用して、読書への意欲を高める。 ・読書に親しめるような活動に学校全体で取り組む。	
指標 ・児童アンケート「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上または、この水準を維持する。 (R6 81%)	

年度目標の達成に向けた取組内容の進捗状況

次年度への改善点